国語の玉手箱

三の一と「モチモチの木」
平成二十八年　三月七日（月）
文責　国語専科　浪谷

よろしくお願いします！

今年度、国語専科として一緒に学習させてもらっています、池谷廣史（いけたに　やすし）です。現在、国語科「モチモチの木」（物語文）で三の一に入らせてもらっています。

この単元は、『人物ファイルカード』でお気に入りの物語を紹介しよう』というめあてで学習を進めています。「モチモチの木」は、中心となる人物である豆太の成長が描かれていて、臆病な豆太が、じさまの病気に際し、一人真夜中の道を医者様を呼びに行き、そこで勇気のある子どもしか見られない山の神様の祭りを見るという物語です。

全十時間の単元で左にある学習の流れにそって、学習を進めています。四時間目は、「豆太って、どんな人物？」というめあてで学習しました。この時間は公開授業として、多くの先生方に参観してもらいました。

前日の家庭学習では、「本文の中で豆太のことがよく分かる文章にチェックを入れてくる」という予習型の課題を出しました。それをもとに豆太の人物像をみんなで考えていきました。ペアでお互いが家庭学習でどんなところにチェックを入れているのか確認し合い、自分が思う「豆太は〇〇な人」というように豆太の人物像を考え、それを全体で交流しました。ペアや全体の交流の中で、その登場人物のことを考えていても、その視点となる文章が違っていたり、同じ文章を読んでいるけど、登場人物の印象が違っていたりと、一人ひとりの感じ方に違いがあることにみんな気付いていきました。

四時間目「豆太って、どんな人物？」

〇優しい男の子（　　さん）
〇臆病だけど勇気のある男の子（　　くん）
〇こわがりだけど勇気のある男の子（　　くん）
〇弱虫だけど優しい男の子（　　さん・　　さん）
〇すごく勇気のある男の子（　　さん）
〇昼間はいばっているけど、夜はモチモチの木が恐い男の子（　　くん）

授業が進む中で、どの場面の豆太を取り挙げるかによって豆太の印象が人それぞれちがうこと、豆太の気持ちが変化していることを確認し、**豆太の〈　　〉に対する気持ちは変わっていない！**という課題を出し、ペアで〈　〉に当てはまる言葉は何か、その根拠はどこから分かるのか話し合わせました。どのペアも「〇〇やない。」とか「●●と思うけど、どう思う？」と二人が課題解決に向けて必死に考えていました。授業を参観した先生方から「書く力、読む力が身についている。」「ペアでの交流する姿がよかった！」という評価もいただきました。三年生になって国語科で取り組んできたことがしっかり身についているなと感心しました。

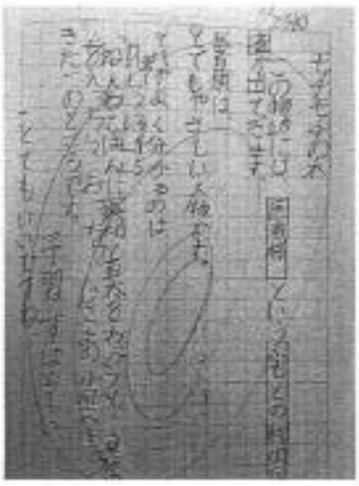
【授業の振り返り】※表現ありの最後、（　　）に対する気持ちは変わっていないで、くわしく考えれたのでよかったです。「人物ファイルカード」を書けるようにがんばりたいです。（　　さん）

〇ペアでやって、　　ちゃんの言いたいことがよく分かりました。（　　くん）
〇　　ちゃんの意見を聞いて、臆病じゃなくてじさまなんだなと分かりました。（　　くん）
〇ぼくは豆太がどんな人物か、　　ちゃんとかみんなのおかげでよく分かりました。これから、「人物ファイルカード」を作っていきたいです。（　　くん）
〇　　くんとペアで、じさまがモチモチの木でまよったけど、どちらの気持ちも始めから終わりまで変わってないと思いました。（　　さん）
〇　　くんといっしょに考えれたし、（　）に対する気持ちは変わっていないで、　　くんの意見を聞いて「あ～そういうことか。」と思いました。（　　さん）
〇ぼく達は、じさまにしていて、モチモチの木に対してのことも変わっていないということがあとから分かりました。（　　くん）
〇豆太がどんな人物かを考えられたし、ペアでいろいろ話し合えたのでよかったです。（　さん）
〇ペア交流をして、豆太がどんな人物かを考えれたし、お互いちがうのをもって、ワークシートにたくさん書けたのでよかったです。いろいろなことが話し合えたのでよかったです。（　　さん）
〇最初、怖がりで臆病な豆太だったけど、じさまを助けるために勇気を出していることが分かりました。　　ちゃんがわけを詳しく話してくれたのでよかったです。（　　くん）
〇　　くんやみんなの意見で考えなかったのも知れてよかったです。　　くんの意見を聞いて（そこもあるんだな）と思いました。（　　さん）
〇　　くんは、とても勇気のある男の子にしていて、最初理由を聞いてちがうと思っていたけど、詳しく聞くと（なるほど。）と思いました。（　　さん）
〇ペアで豆太ってどんな人物かを怖がりや勇気があることとか、いっぱい出たので自主学習でもしたいです。（　　くん）

☆すばらしい取り組み！☆

【　　さんの自主学習】

【　　さんの自主学習】



上の二人に共通していることは、予習型の自主学習ということです。　　さんは、自分でモチモチの木の登場人物の人柄を**考えよう。**とめあてを立て、自分なりに豆太はこんな人物ということをまとめています。　　さんに「なぜ、このめあてにしたの？」と聞くと、「学習の流れを見て次の学習することが分かっていたから。」と答えてくれました。それぞれの場面の豆太を根拠をもって想像しています。　　さんも次の日に医者様について考える学習をするので、その前日に自分なりに医者様についてまとめています。まとめ方も、これまでに豆太やじさまについて学習してきたことをふまえてまとめています。　　さんのまとめたものは、授業で活用させてもらいました。二人ともしっかり学習の見通しをもっていることが分かります。

こういった予習型の自主学習は、上級生または中学生と学年が上がればとがるほど身につけてもらいたいことです。「授業にはまる自主学習」をみなさんも参考にしてみてください。